

むろらん 市政だより



躍進する年とするために 諸事業を強力に推進

市長 高 薄 豊次郎

つつしんで、新年のごあいさつを申し上げます。

本年も、市民のみなさまにおかれましては、ご健勝で、さち多き年でありませう、年頭にあたり心から祈念いたします。

わたくしは、市民のみなさまとともに、この新しい年を、室蘭市政躍進の年とすることを決意いたし、元旦を迎えました。

わたくしは、市長に選ばれて以来、常々、室蘭市発展の経過をふりかえり、こんにちの市勢を熟慮しつつ、将来にわたる新しい整備発展の諸施策、立案に努め、第一次、第二次主要事業五か年計画のもとに、市の重要諸施策を実施し着々と、その成果を上げているところであります。

さて、本年はさらに、「市民との対話」をつうじて、一昨年に答申された「室蘭市総合基本計画」を、将来の目標に、外港防波堤の早期完成、蘭北台地白鳥台ニュータウンの造成分譲、室蘭・札幌間（美笹経由）道路および、国十開発縦貫自動車道の建設など、広域行政に対応した諸施策も、数多くありますが、なんと申しまして市政の第一は、市民の福祉の向上

に努めることでありませう。

したがって、住宅対策の推進、道路舗装整備などの建設事業および、上下水道、清掃施設の整備、小中学校の増改築の促進、福祉施設の充実などの生活環境の整備、民生福祉対策の推進を強力におし進めてまいりたいと存じます



年頭のあいさつ

議長 瀬戸川 省 二

市民のみなさま、あけましておめでとうございます。

希望に輝やく、昭和四十四年の新春をみなさまとともに、迎えることができましたことは、このうえない喜びであり、心からお祝いを申し上げます。

みなさまには、新しい年を迎える一年に大きな希望と期待を持ち、新たな決意で第一歩を踏み出されたことと存じますが、わたくしども直接市政に参画するものとしまでも、みなさまに負託された職責の重要さを肝に命じ、全力を傾注する決意で新年を迎えました。

しかし、これらの事業の推進にあたっては、幾多の困難がともなうことは、申すまでもありませんが、わたくしは、行政の主権者は市民であるという、民主主義の原則をつらぬき、永遠に続く室蘭の歴史の一点で、市長としての責務を果たすため、いかに困難であろうとも、これら、諸事業にまっとうから取り組み、強力に推進してまいれる所存でございます。

そのためには、なによりも、市民のみなさまの積極的なご協力をいただかねばなりません。都市構造が、複雑化し、個人にかかる利害がふくそうすればするほど、私

的利益と公益の調整に苦慮いたします。

わたくしは、公益の保持、伸展させる立場にある市長として、あえて、公益優先の決断をくださねばなりません。

この立場をご賢察の上、ご協力くださるよう、重ねてお願い申し上げます。

年始にあたり、本年にかける所信の一端をのべさせていただきますが、何とぞ、本年も一層のご理解ある、市民のみなさまのご支援をたまわりますようお願いし、年頭のごあいさついたします。

北海道二世紀に第一歩を力強く踏み出す年であり、室蘭市の市政執行においても、一層の努力を要する年でもあると思っております。

本市におきましては、将来本市のあるべき姿を想定し、市民福祉の向上を第一義として、幾多の重要問題と取りくみ、諸行事を強力に推し進めておりますが、市議会としましては、常に世論の動向を把握し、時代に即応した計画的、総合的な推進をはかり、住みよい室蘭市建設に最善の努力をいたす覚悟であります。

どうか、市民のみなさまには旧に倍しますご協力、ご指導のほどお願い申し上げますとともに、希望に満ちた昭和四十四年の新春にあたり、みなさまのご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさついたします。

第4回市議会定例会から



五十七万一千円、才出では、生活保護費三千八百五十万円が、おもな増となっています。

▼特別会計

土地区画整理特別会計に、二十二十五万二千円を追加し、総予算額三億五千八百九十三万二千円、蘭北台地開発特別会計に、六百万円を追加し、十四億二千五百十

住宅事業特別会計に、七百五十万三千円を追加し、五億八千三十一万四千円となりました。

また、水道事業会計に、六千二百八十八万八千円を追加し、収入予算総額七億五千七百三十三万三千円、支出予算総額八億二千四百二十一万七千円

病院事業会計の収入予算額に、二千九百二十六万五千円を追加し、総額十億一千二百四十万四千円とし、支出予算額に、三千五百六十六万五千円を追加、総額十億三千八百八十四万五千円となりました。

その他の議案

▼固定資産評価審査委員会

委員に西岡 健氏
昭和43年10月1日をもって辞任された本市固定資産評価審査委員田代肇一氏の後任委員として、西岡 健氏がまきまりました。

▼室蘭市学校給食センター

新築工事まきまる。
学校給食センターが、工費約六千三百万で、登別町字鷺別に建設されることになりました。

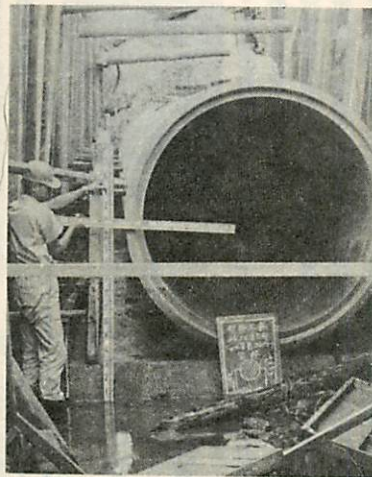
補正予算

▼一般会計

才入才出予算の総額に、それぞれ九千七百八十三万円を追加し、才入才出ともに、五十四億一千八百六十三万六千円となりました。才入については、市税四千五百

文化的な健康都市に 下水道建設審議会で答申

下水道は、文化的な健康都市になくなくてはならない施設です。室蘭市公共下水道建設審議会では、市民生活の向上と環境整備の改善を目的として、**△美しい住みよいまち▽づくりのため** **△公共下水道の建設促進ならびに管理運営の合理化▽**について市長に答申を行いました。



ければならない本市の都市環境の現状を勘案し決定すべきである。

しかし、公共下水道の建設は、地方公共団体の施策とされていくが、緊急にして重要な都市対策であり、国はもとと強力に推進されるよう地方公共団体に対し、大幅な援助をすべきであると思考されるので、市は今後も関係機関に強力に働きかけ、その建設促進と市民負担の軽減をはかるよう努力すべきである。

◎公共下水道の管理運営の合理化について

公共下水道の建設促進と合せて増高する施設の管理運営に要する費用は、雨水排除については原則として租税負担に帰する公費の負担とし、汚水および尿の処理ならびに排除については、原則として個人の負担に帰せしめるのが合理的である。

なお、使用料として個人の負担すべきものは、汚水に係る建設費を含んだ原価計算式により、算定された額に原価計算式により、算定された額にすることが正しいものと考えられる。

また、公共下水道の初期段階においては、少数利用者のみに負担させるべきでなく、その期間に限り市債の負担が生ずることもやむを得ないが、原価計算式構成要素は変化するため、一定期間に限り妥当とする額を定め、情勢の変化に応じて適正なものに改めることが必要である。

以上、申し述べた提案が十分生かされるためには、公共下水道事業に対する市民の理解と支持が基本的に必要であり、室蘭市は、そのための措置を精力的かつ恒常的に講ずるべきである。

なお、右記の外に、公共下水道の建設は国の施策であり、国の責任において強力に進めるべきであるのに、受益者負担金制度の有無で財源の確保に差が生ずるような施策は、認められないなどの少数意見があったことを付記する。

※受益者負担金とは、「下水道の設置によって利益を受ける者が、その受益の限度内で建設費の一部を負担する金額」のことをいう。

国においては、この制度を採用しない都市については援助を打ち切るといふ強い指導方針を打ち出しており、全国の都市でも、この制度を実施したり、また、実施の準備を進めておる現状です。

答申内容は次のとおりです。

◎公共下水道の建設促進について
公共下水道が、都市における基盤的施設であり、先行的整備がなされなければならないものであるが、その建設には多額を要し、その財源の求め方につき、国の基本的な考え方ならびに市に付与されている財源の現状からみて、その建設促進のためには、受益者負担もやむを得ないという結論に達したので、室蘭市も、早急に本制度を確立し、財源の確保をはかるべきである。また、その負担率合については、緊急に整備をはからな

新民生委員きまる

百五十五人が委嘱

☆ 新しい民生委員（児童委員）百五十五人がきまり、昨年十二月一日付で厚生大臣から委嘱されました。今回委嘱を受けたのは新任四十七人、再任百八人

☆ で、ご婦人は四十六人となっています。民生相談は、最寄の民生委員へ

民生委員児童委員（氏名）

敬称略

▽一般

橋立	竹次	絵柄町	2	4	9	齊藤	豊	幸	町	7	16	田上ハルヨ	2	13	9	高木	清吉	石川町	1	1	9												
大滝	雄治	祝津町	2	5	6	村井	良作	本	町	1	5	長浜	ヒデ	輪	西町	1	6	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3									
岡野	ハツ	2	13	5	岸	正三	舟見町	1	4	4	林	美津	2	13	17	荒木	勝義	高砂町	1	4	15	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1						
吉田	富博	3	1	7	轟木	清見	1	6	4	藤井	秀夫	2	10	10	小川	進	36	12	中村	定雄	5	13	15	高木	清吉	石川町	1	1	9				
石堂	純次	3	1	7	萩	登美子	山手町	2	3	22	細木	広江	2	20	4	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1		
吉原	信子	小橋内町	1	1	14	熊谷	きよ子	3	3	35	古川	貞英	2	25	8	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1		
阿部	隆寿	1	1	11	秋葉	忠八	3	6	5	成田	幸雄	みゆき町	1	9	8	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1		
山崎	勝慶	2	6	14	藤本	エツ	入江町	12	小林	きくエ	1	16	3	3	3	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1		
宮部	栄治	港南町	1	16	5	山内	大治	新富町	1	9	25	深谷	政子	2	4	34	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	
島津	サツ	2	12	4	西川	喜太郎	1	12	17	館	久枝	大沢町	1	2	2	7	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	
三好	豊	増市町	1	15	3	工藤	正実	母恋北町	1	1	9	鈴木	正二	3	2	9	0	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1
伊藤	礼子	緑	町	9	13	中垣内	幸夫	1	7	3	越村	繁	3	2	2	8	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	
保坂	真之助	西小路町	5	12	佐藤	つる代	2	8	4	水口	松伊	東	町	5	12	13	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	
奈良	大道	沢	町	10	7	佐々木	忠作	2	7	3	鈴木	香	3	2	2	2	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	
船場	新太郎	幕西町	10	25	佐々木	ミヤ子	母恋南町	1	1	11	3	北岡	勇治	5	19	10	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	
大西	三郎	海岸町	2	4	4	川崎	和子	2	1	14	鈴木	良明	1	19	10	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1		
福田	みさを	2	7	18	松本	ハツエ	2	2	10	音無	光雄	1	24	6	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1			
清野	ナミ	2	7	19	稲田	清	2	6	9	熊谷	幸治	2	17	8	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1			
金沢	安三	3	11	9	白戸	国子	3	5	11	金沢	熊之助	3	4	20	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1			
田中	キヨ	3	13	10	相田	正義	3	4	6	元田	本一	4	18	4	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1			
小西	章介	中央町	2	1	11	菅野	庄市	4	2	23	二瓶	喜代治	町	1	12	10	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	
佐野	修治	2	5	14	藤森	ミノリ	5	8	7	増岡	吉式	寿	町	1	15	6	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	
鈴木	絢子	3	1	14	佐藤	益男	御前水町	1	12	30	中尾	栄	日の出町	2	3	8	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	
松崎	美津	常盤町	10	3	加藤	正一	2	1	11	34	武岡	昭吉	3	3	6	7	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	
伊藤	実	清水町	2	8	23	舛田	正吉	御崎町	2	2	34	越本	正三郎	水元町	12	4	磯野	保雄	35	5	久保	秋雄	香川町	1	1	3	高橋	好雄	白鳥台	3	30	1	

▼富士鉄社宅関係

鶴飼 秀男 輪西町 3 5 7
高沢 泰子 みゆき町 1 18
上村 春義 2 17 10
山形 秀子 大沢町 1 2 2 2
日野 次郎 高砂町 4 30 5
清藤 みよ子 中島本町 1 6 4
吉田 美代子 1 15 3
山田 一夫 1 29 3
布施キクエ 2 29 4
斉藤常五郎 2 34 2
三上 幸造 3 4
清野辰四郎 知別町 3 9 16
奥下スエ子 4 3 6
豊田 貞行 4 36 4
次原 正夫 港北町 2 6 2
山形 正 2 28 4
小田 正光 3 24 4

▼日鋼社宅関係

新田 清 茶津町 12
松井 仙松 母恋南町 3 10 8
田中 義久 御前水町 1 7 31
浅野 政寿 2 19
松崎 甚吾 3 7 3
海老原美佐子 御崎町 2 11 14
大垣 文吉 町 1 8 4
宇野とし子 1 17 2
加藤テツエ 2 22 25
中村テルエ 2 24 26
木村 ふみ 4 10 16
清野喜代秀 4 30 9
立石 忠夫 町 1 5 14

▼富士鉄社宅関係

鶴飼 秀男 輪西町 3 5 7
高沢 泰子 みゆき町 1 18
上村 春義 2 17 10
山形 秀子 大沢町 1 2 2 2
日野 次郎 高砂町 4 30 5
清藤 みよ子 中島本町 1 6 4
吉田 美代子 1 15 3
山田 一夫 1 29 3
布施キクエ 2 29 4
斉藤常五郎 2 34 2
三上 幸造 3 4
清野辰四郎 知別町 3 9 16
奥下スエ子 4 3 6
豊田 貞行 4 36 4
次原 正夫 港北町 2 6 2
山形 正 2 28 4
小田 正光 3 24 4

以上一五五名

昭和43年市政のあゆみ

住みよいまちづくりの第二次主要事業5か年計画を施策の基本に、市政全般について諸事業をすすめてきた、昭和四十三年の市政のあゆみを掲載しました。

市民が楽しく働くことができる生活環境づくりで、道路、排水などの土木事業整備を重点に、また、水元小学校舎新築をはじめ、中学校危険校舎の増改築、保育所の建設、市動

労者ホームの開館、交通共済制度の実施など身近かな問題の解決が図られました。

なお、消費生活安定への期待も大きい市中央卸売市場の開設、白鳥台ニュータウンに初の市営住宅が完成、女子短大の誘致など、本市が、さらに発展するための基盤を着実に示した昭和四十三年を、ふりかえってみましょう。

1 月

6日 消防出初式 11日 中島公園内プールをスケートリンクに開放 15日 第16回室蘭市成人式（参加者二千六百八十六人） 23日 公害問題で肺機能検査（鶴ヶ崎中） 28日 市民皆スキー大会兼第22回室蘭スキー競技大会

2 月

9日 市政モニター会議 42年度市納税貯蓄組合連合会表彰式 11日 中体連スキー大会（望洋台スキー場） 12日 室蘭圏広域都市計画協議会連絡会議 25日 市民スケート大会兼第23回市体育大会 スケート競技会 26日 白鳥台ニュータウン造成にベルトコンベヤ使用開始

3 月

7日 市消防職員永年表彰式 9日 第9回準看護婦養成所生徒卒業証書授与式（高等看護学院設置で、閉所となる） 17日 市善行表彰式 18日 公益質屋移管（市社会福祉協議会へ）（4月1日）に関する協定書の取交し 23日 市交通災害共済制度加入街頭受付はじまる（4月1日発足） 26日 室蘭市名誉市民条例を公布

4 月



1日 室蘭市交通事故相談所開設 市高砂出張所・同会館開く 北辰中、武揚小、常盤小の校舎転換 4日 港保育所開所式 5日 婦人交通指導員街頭で実習（5人委嘱） 6日 本室蘭小中学校白鳥台ニュータウンに移転開校 8日 室蘭市公共下水道建設審議会第1回会議 10日 市立室蘭高等看護学院入学式 17日 室蘭地区工業用水道竣工式（幌別ダム） 20日 市庁舎（本庁）火災避難訓練を実施 30日 室蘭市勤労青少年ホーム開館

5 月



2日 緑化週間に記念植樹祭行なう 6日 室蘭地方労災病院誘致促進期成会定時総会 「室蘭市の鮮魚流通機構とその価格形成について」調査報告 16日 一九六八年十勝沖地震で被害Ⅱ室蘭震度4（市の対策本部設置） 17日 新入学児童に対する郵便貯金通帳の贈呈式（二千六百六十四人） 22日 地震被災者相談所を開設（25日4か所） 27日 崎守下水処理場建設はじまる（43年度一部運転開始） 29日 室蘭港外港築設促進期成会総会

6 月

3日 水道施設見学会（7日千才浄水場ほか） 4日 市長の現地視察を実施（8月22日各支所出張所） 10日 第3回「動く市政教室」スタート（月2回 参加

雇用促進住宅の

入居案内

▼雇用促進住宅とは
公共職業安定所の紹介で、人手の足りない地域の事業所に就職する方々が、その地域で公営住宅等の適当な住宅を確保するまでの間居住できるように、雇用促進事業団が国費をもって建設する住宅です。

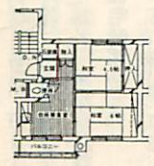
本市には、すでに、水元町に4棟百六十戸が建設され、移転就職者の方々が入居しております。また、さらに高平町に4棟百六十戸が建設されました。

▼入居できる方は
公共職業安定所の紹介で室蘭市以外の地域から市内の事業所に就職した方で、転入してから3年6か月未満の方（就職した事業所が失業保険の適用を受けていることが原則です）

▼家賃・敷金
家賃 月四千円
敷金 家賃の2か月分相当額

▼入居申し込み
室蘭公共職業安定所（事業所課求人係）へ

▼住宅の構造



者五百八人) 21日 消費生活モニター(第1回)生鮮食品試買調査行なう 全道高校サッカー選手権大会(23日) 24日 国民健康保険税率アップを告示(一人平均八百七十一円)



7月
1日 市民安全の日(市民大会)
4日 北海道都市小学校長会(5日)
7日 参議院議員選挙投票日
16日 蘭東、蘭北、蘭西地区の交通量観測
28日 市民海浜レクリエーション大会
30日 市中央卸売市場開場式および竣工祝賀会

8月
6日 大和小プール竣工式
10日 開道百年記念胆振地区スポーツ大会(11日)
12日 文化女子大学室蘭短期大学(仮称)地鎮祭
21日 8・21大雨対策本部設置

23日 北海道都市建設協議会(24日)
31日 市立室蘭総合病院増改築工事竣工式

9月

1日 愛の献血運動を実施(30日)
5日 公害対策審議会(7日)
6日 中央卸売市場青果物部営業開始
13日 日本港湾協会第40回通常総会開く
16日 住宅の建築申請(建築基準法第6条第1項第4号の建築物)の確認を市で行なう
17日 市政モニター会議開く
19日 国鉄崎守駅開業式(白鳥台ニュータウン玄関口として)
20日 43年度室蘭市戦没者ならびに艦砲射撃殉難者追悼式
28日 献血運動推進団体および個人に対する表彰状の贈呈式



10月
1日 43年住宅統計調査を実施
2日 第6回全国ター道路路研究



11月
1日 住民基本台帳制度スタート
ばい煙規制都市としてはばい煙規制法による完全実施(2年間の猶予期間終わる)
3日 市功労者表彰式(5人) 市勤続者表彰式(15人) 行なわれる
5日 室蘭・札幌間(美笹経由)道路建設促進特別委員会による現地踏査
20日 水元小学校舎増築第2期工事完成(天沢小学校舎11月25日、鶴ヶ崎中12月31日)
30日 室蘭市公共下水道建設審議会による答申 白鳥台ニュータウンに初の市営住宅が完成

5日 中央卸売市場水産物部初せり
10日 市宮サッカー競技場完成
16日 油火災等の防圧訓練
18日 市と町会長との懇談会
19日 全道6人制バレーボール大会(20日)
25日 第10回室蘭市社会福祉大会
27日 市道地球岬通り線開通式

12月

5日 白鳥台ニュータウン市営住宅入居開始
6日 歳末たすけあい市民演芸大会
14日 市学校給食センター新築工事はじまる
20日 選挙人名簿登録数確定(十萬二千四百六十五人) 文化女子大学室蘭短期大学認可となる。



交通災害共済に 加入しよう

本市では、昨年4月1日から交通災害共済制度を実施しております。自分だけは交通事故にあわないといっているはいられません。万一に備えて、交通災害共済にぜひおはいりください。
○会費は年額大人一人三三〇円 小人(16才未満)一人二四〇円
○申し込みは、市役所公害課で受け付けております。

“建てよう住宅 なくそう違反”

- ★建築工事は必ず届け出を
- ★宅地と住宅のご相談は市建築指導課へ
- ★建築確認申請書の図面は3部提出してください



宅地分譲中

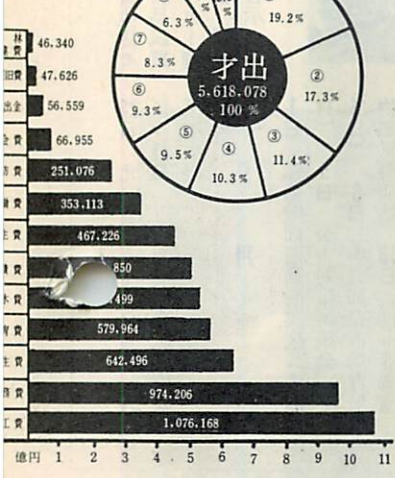
(室蘭振興公社)
分譲地
港南町団地 33区画
沢町B団地 1区画
小橋内G団地 1区画
※申し込み・お問い合わせ 室蘭振興公社(市役所4階)

情説明書

計決算状況

計

位千円



室蘭市では、毎年2回市の財政状況について、お知らせしておりますが、今回は昭和42年度決算と43年度上半期の予算執行状況について公表します。

昭和43年12月 室蘭市長 高 薄 豊 次 郎



一般会計予算執行状況 (43.9.30 現在) (単位千円)

行状況



才入

科 目	予算額	収入額	収入率
市 税	2,424,107	1,370,793	56.5%
地方譲与税	100,000	0	0%
娯楽施設利用税交付金	1,800	0	0%
自動車取得税交付金	10,000	0	0%
地方交付税	1,000	0	0%
交通安全対策特別交付金	5,000	0	0%
分担金及び負担金	18,580	7,443	40.1%
使用料及び手数料	186,664	89,912	48.2%
国庫支出金	813,826	274,564	33.7%
道 支 出 金	79,038	21,622	27.4%
財 産 収 入	295,318	33,284	11.3%
寄 附 金	2,100	0	0%
繰 入 金	19,243	10,152	52.8%
繰 越 金	3,579	68,164	1,904.6%
諸 収 入	721,411	59,954	8.3%
市 債	639,140	140,500	22.0%
計	5,320,806	2,076,388	39.0%

才出

科 目	予算額	支出額	支出率
議 会 費	69,870	39,985	57.2%
総 務 費	902,044	497,608	55.2%
民 生 費	699,912	328,183	46.9%
衛 生 費	564,675	190,041	33.7%
労 働 費	352,344	173,829	49.3%
農林水産業費	46,639	18,027	38.7%
商 工 費	369,715	331,334	89.6%
土 木 費	638,492	193,876	30.4%
消 防 費	255,794	99,729	39.0%
教 育 費	639,201	194,623	30.4%
災 害 復 旧 費	70,296	5,176	7.4%
公 債	522,654	275,195	52.7%
諸 支 出 金	179,583	35,582	19.8%
予 備 費	9,587	0	-
計	5,320,806	2,383,188	44.8%

特別会計予算執行状況 (43.9.30 現在) (単位千円)

会計名	予算額	収入額	収入率	支出額	支出率
国民健康保健会計	295,744	104,106	35.2%	95,958	32.4%
港湾整備会計	1,601,900	416,814	26.0%	538,237	33.6%
土地区画整理会計	341,920	70,402	20.6%	164,204	48.0%
蘭北台地開発会計	1409,100	479,568	34.0%	550,416	39.1%
住宅事業会計	572,811	125,534	21.9%	212,997	37.2%
中央卸売市場会計	483,285	28,425	5.9%	201,838	41.8%
交通災害共済会計	7,940	4,203	52.9%	1,063	20.2%

市有財産の状況

(43.9.30 現在)

土 地	建 物	そ の 他
9,130,746.28 m ²	318,363.79 m ²	356,364千円



室蘭市財政事

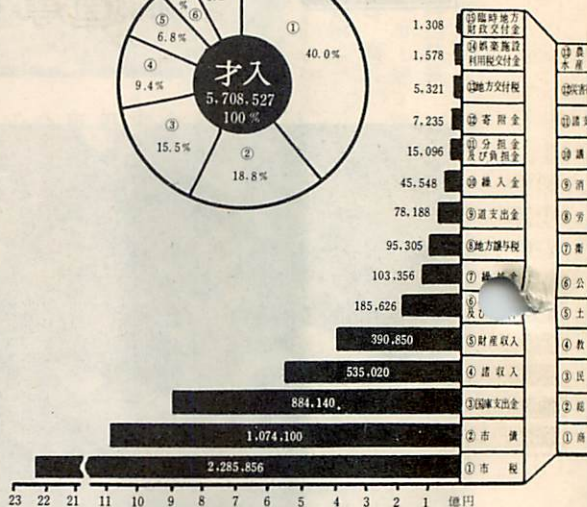
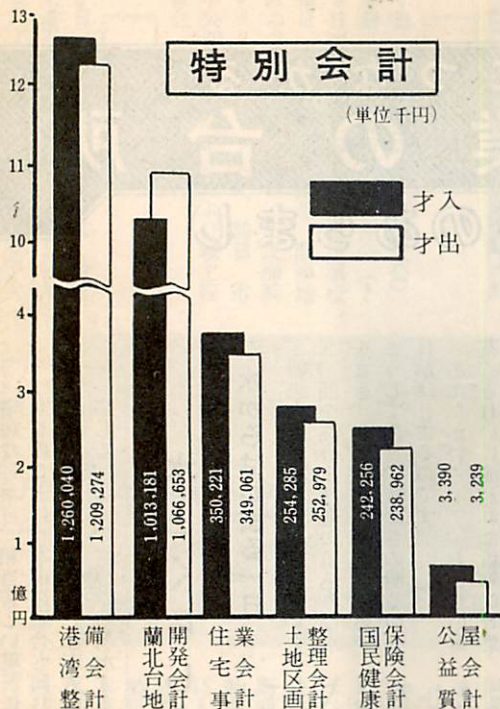
昭和42年度各会

一般会

人口 181,607人
世帯 45,863世帯
(43.12.1現在)

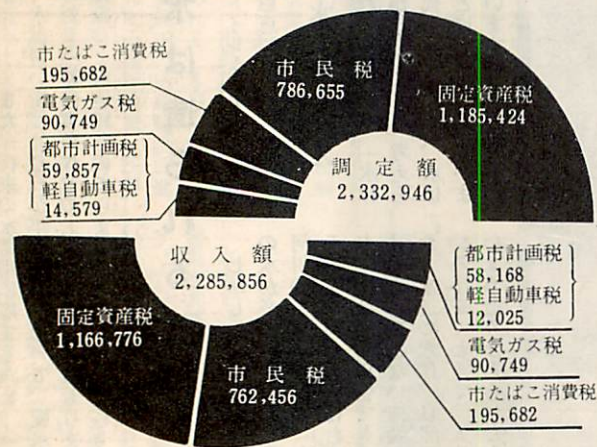
特別会計

(単位千円)

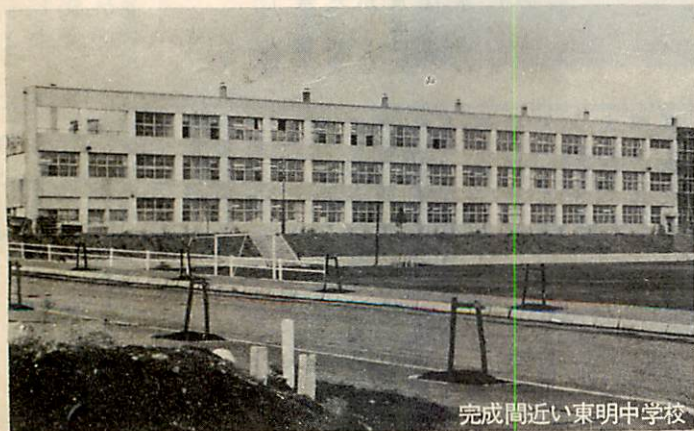


42年度決算による市税の状況

(単位千円)

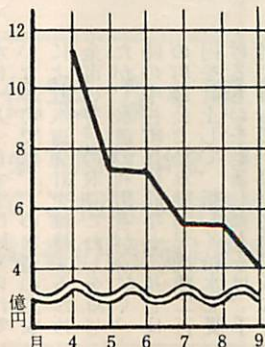


昭和43年度各会計予算執行



一時借入金の状況

(43.9.30 現在)



市債の状況

(単位千円) (43.9.)

目的別	金
港湾債	2,024.5
蘭北債	2,084.2
商工債	425.0
教育債	850.5
衛生債	551.4
土木債	442.9
転貸債	321.1
土地地区画債	222.0
住宅債	315.8
中央郵便市場債	948.8
その他	800.9
計	8,967.6

市民生活につながる 公営企業の台所

水道事業経営のあらまし



水道でわきでる楽しさ
健康やかさ

水とくらし……水は造られる

最近の水道事業は、全国的にみても、いろいろな問題をかかえ、財政的にも経営経費の増加などから、相当苦しい現況にあります。このことは、本市の場合も同じように、水道が市民生活の向上と、都市人口の集中に対応して、遠くの水源から取水するため、建設

費の増大をきたし、起債の元利償還金の累増などが考えられます。また、「将来の水需用に應ずるため、「新しい街づくり五か年計画」にそって、配水施設整備事業などの工事を計画してはおりますが水道経営のあらましをお知らせしましょう。

▽水からはじまる一日

朝起きて、冷たい水で口をすすぎ、顔を洗う……。庭の植込みに水をまき、さわやかな朝を迎える。こうして毎日、私たちの明るい一日がはじまるのです。

あたたかいスーパ、おいしいお茶、きれいに洗われた新鮮な野菜

洗たくも、トイレも何もかもすべてが、水の恩恵に浴しています。

▽自然の水を造りかえ

水に恵まれた日本では、「水は天からの授かりもの」と、考えられていた時代が長くつづき、水はタダであるという考え方が、いまだに残っています。

しかし生活水準が向上し、大量の水が必要な今日では、水源難や河川のごれなど、自然の水をそのまま使うことはむずかしくなり、都会でも田舎でも、水道は欠くことのできない施設となりました。水道の水は、自然の水にいろいろ手をくわえて、人体に害のないよう造りかえられたものです。

水売りとは

井戸取りこわし令

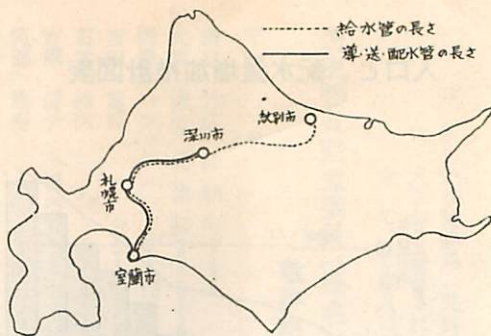
水道のなかった室蘭は、井戸水に頼っていた。これらの井戸水質検査(明治37年)の結果百六十三の井戸のうち八十八より飲料適水がなく、水道計画が表面化した。

かくて明治四十一年(一九〇八年)海岸町、千歳町の有志九十八人が、工事費は五千二百円余を投じて八幡宮下の湧水をガスパ管で海岸町に導水して貯水槽にためて付近住民に給水したが本町、舟見町など遠距離には馬車十台を常設して希望者には一荷一銭〜三銭の運搬費を徴収した。一方、水道は日本製鋼所より分水を受けることになり、大正四年(一九一五年)五月十四日の地鎮祭に引きつづいて工事を始め、同五年四月三十日に完成した。が、通水ならびに給水は一月一日すでに始められていた。町では、この水道の完成により水道会計を維持するため全市の井戸の取りこわしを命じたが、水道の利用者が少なく、時の中村町長は同年十二月七日の町議会で給水勧誘奨励費二百円を計上して、新しく給水を受けるものを勧誘したときは、手当てとして十銭を支給するなど熱心に奨励した。この結果同六年末は、三千九百十六戸が水道を引くようになった。

(室蘭市史38年発行から掲載)

室蘭の水道は

いまだこうなっているのではありませんか！



室蘭から道央の深川市までの鉄道の距離に相当します。
また、合所や風呂場などの蛇口までの給水管の延長は、一世帯約十メートルとすると、大体紋別市ぐらいまで達します。

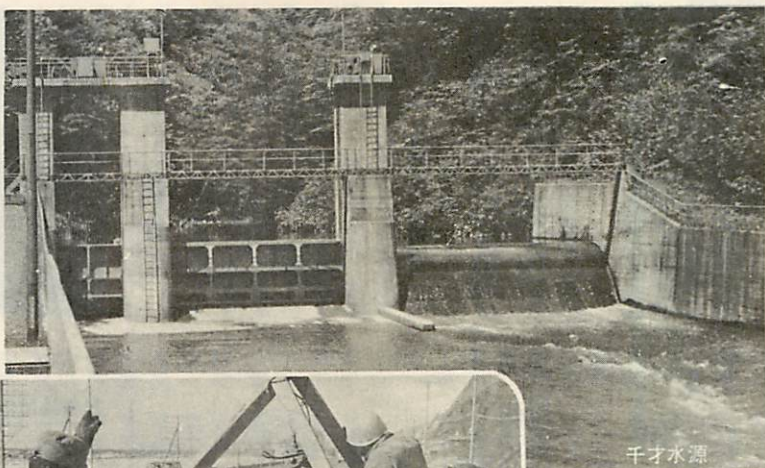
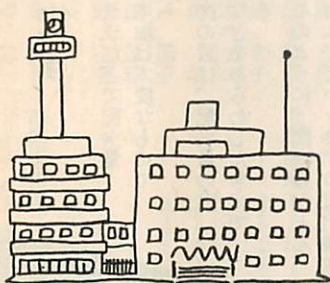
(1日/人当り配水量)

バケツ × 45 杯

(1日最大配水量)

市庁舎 × 1.5 倍

いま室蘭市に住む人の数は十八万四千四百人です。
この人々の九四%に当る十七万三千六百人の人々が、室蘭の水道を毎日利用しています。
このため水道部では、
一日最大 五万七千トン
一日平均 四万六千五百トン
一日一人当り二百六十八リットルの水を配水しています。
この一日最大配水量五万七千トンは、市役所庁舎をマスにするると約一杯半にもなります。
そして、各家庭に給水するため水源から引いている管(導、送配水管)の延長は、約二百三十一キロメートルもあり、この長さは



千才水源



配水管敷設

豊かな水を

おとどけるための

配水施設整備事業

この事業は、あたらしい街づくり五か年計画にそって、水の出が悪い地区をなくしたり、まだ水道がひかれていない地域に水道をひけるようにするために、市内の配水諸施設の施設、整備をするものです。

また、水の需用に際するため、千歳水源からの取水を、日量一万二千トンを増量する工事も考えております。

これらの事業は、昭和四十四年度から四十八年度までの五か年計画で、事業費約八億円が見込まれそのほかに、施設の維持改良事業漏水防止工事を含めて総額十二億一千七百万円を必要とします。

豊かな水を

お約束するための

第四期拡張工事

水道部では、市勢の発展につれて、急増する水需用を見越し、つねに需用にさきかけ、昭和三十七年から第四回目の拡張工事を行なっています。

この工事は、将来安定した給水を行なうため、隣接町の了解を得て、登別川の支流千歳川よりの取

水を計画し、総額十七億九千四百万円を費用をかけ、七年間にわたる大工事のすえ、本年度末には完成の予定です。

この工事完成の際は、一日最大給水量六万八千三百二十トンとなり、十九万五千二百人の人たちの需用に応じることが出来ます。



水はこんなに

使われています

最近室蘭市には、たくさんの方の団地ができました。

しかし、人口はふえるだけでなく、電気洗たく機、家庭のお風呂や水洗便所の普及など、生活が近代化されてきました。

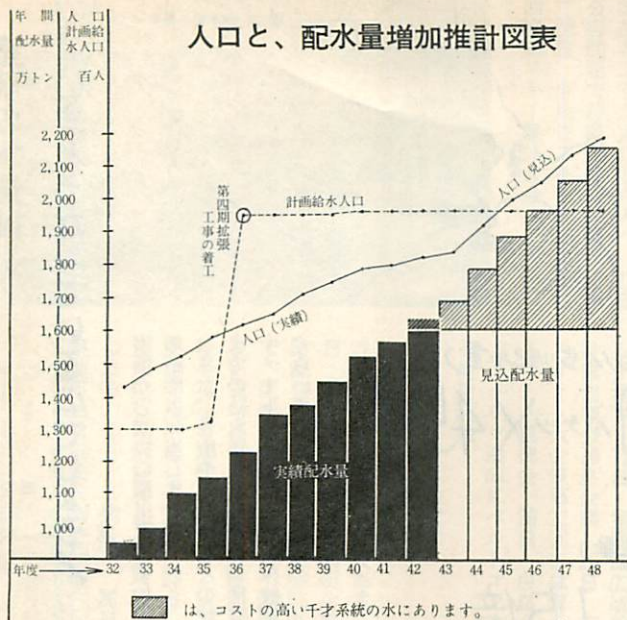
このため、年間の水の消費量が昭和三十二年には九百四十九万トンでしたが、十年間で一千六百二十六万トンと七十一%ものびておられます。

さらに、高層建築の普及、団地

の造成などで配水量の増加は大変なものです。

次の図は、配水量の実績などをあらわしたものです。

このように、配水量がどんどんふえていきますので、皆さんに不自由なく水をおとすため、さらに、つぎつぎと拡張工事や配水施設の整備工事を続けていかなければなりません。



水道経営のしくみ

料金だけであ
かなう
水道

水道事業は、地方公営企業法にもとづき独立採算制をとっています。

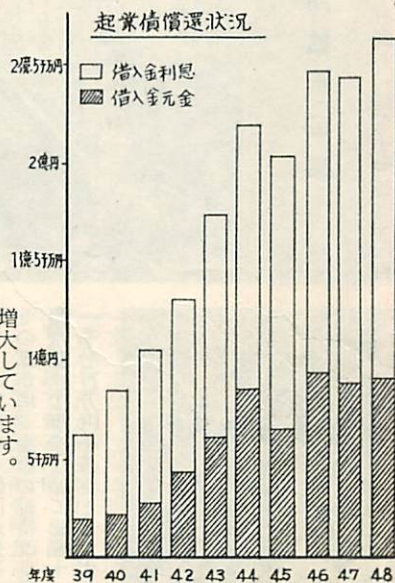
独立採算制とは
○会計が一般会計から独立している。

○経営に必要な経費は、水道料金だけでまかなわれているということ



起債の元利償還状況

水道の建設は、ほとんど起債(国や銀行からの借金)に頼っています。
この起債の利子は、現在政府債で六分五厘、その他は七分三厘の利率です。この償還見通しは次のようになります。



苦しくなってきた

水道の台所



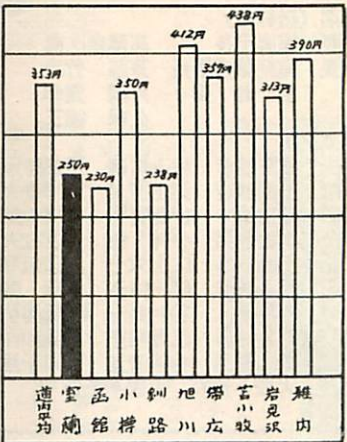
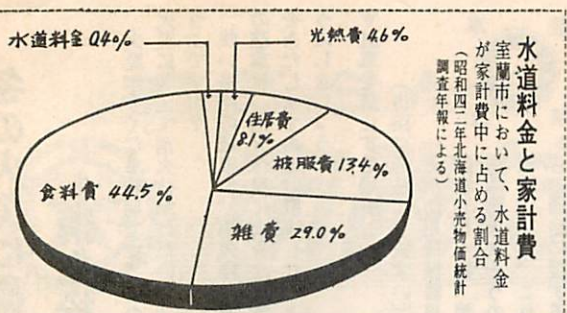
室蘭の水道も、他の都市と同じように人口の著しい増加と、生活水準の向上から水需用が急げき

増大しています。
もし、水の供給が安定しないと市民生活のあらゆる営みに支障をきたすこととなります。そこで、前にも述べたとおり新しい水源を求めて、取水施設を建設したり、浄水場を拡張したりする工事に懸命な努力を重ねています。
これらの工事に必要な資金は、何億、何十億円もかかりますが、全部国や金融機関の借金で行なっています。

このようなことから、拡張工事その他の工事が進むにつれて、元金や利息の償還金が増大してきました。そのため、水道事業は経営の合理化に努力をしておりますが、水道財政は年々苦しくなるばかりです。

安い室蘭の水道料金

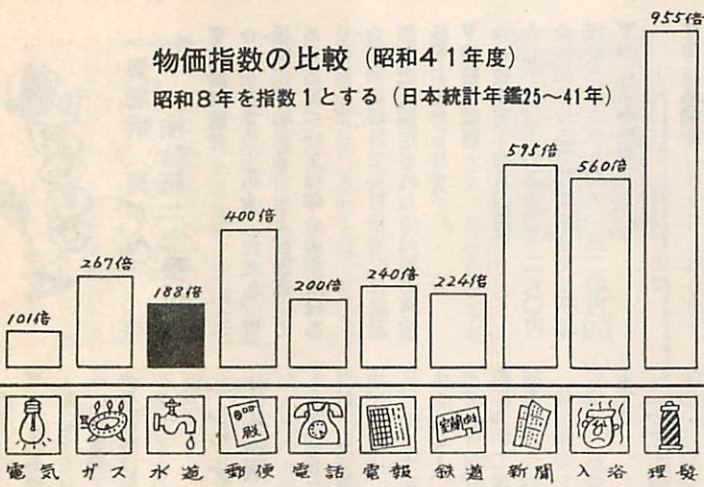
現在の室蘭の水道料金は、昭和三十九年九月に決められたものです。しかし、これから新しい事業を起す資金の調達や借入金を返していくためには、昭和四十四年度以降の水の生産原価は、一トンあたり四十四円七十六銭となつてしまいます。つまり、これからは水をつくるのに一トン当り四十四円七十六銭の原価がかかるものを、現行料金で



は二十七円八十銭でお使いいただくこととなりますので、一トン当り差引十二円九十六銭ずつ赤字が出てくる勘定になります。

安い水の値段
十円で買える水の量
室蘭の水は、ドラムかんで二本も買えます。一、ハリットル（一升）びん一本分の水の値段は、約四銭五厘（〇、〇四五円）です。また水一トンの量は一升びんにして、五五五分あります。
コップ一杯たつたの四厘
はげしいスポーツの後、コップの水をグッと飲みほすその味は、まさに、価値千金です。
しかし、このコップ一杯の水の値段は約四厘（〇、〇〇四円）を買おうとしても、つり銭にこまります。
このコップの水も何の不安もなく飲めるのは、日夜、きびしい管理がおこなわれているからです。

物価指数の比較（昭和41年度）
昭和8年を指数1とする（日本統計年鑑25～41年）



もし水道がどかたら
食卓がどうなる
ビレの冷房がどうなる
文明の明か？
大切な産業活動とどうなる

あなたの水・あなたの水道
いろいろ水道事業が直面している問題についてのべてまいりましたが、これらの解決には、みなさんの水道事業に対する深いご理解とご協力が必要です。水道事業は、みなさん自身のものにほかならないからです。
健康で、明るく住みよい街づくりのために、立派な水道に育てていくよう、ご協力をお願いします。



市立室蘭高等看護学院入学案内

- ★募集人員 20名（男女を問いません）
- ★応募資格 昭和44年3月高等学校卒業見込のもの、又は高校卒業者
- ★入学願書 昭和43年12月20日
- ★受付期間 ~昭和44年1月30日まで
- ★試験日 昭和44年2月19日（水） } 2日間
2月20日（木）

冬の火災に備えて

消火栓や道路の除雪を

火災が多くなる時期です。冬の火災に備えて消火体制はだいたいどうですか？

狭い道路の駐車や、消火栓付近の駐車は、消火作業に大きな支障をきたしますので、駐車しないようにしましょう。

▼駐車を禁止する場所

(道路交通法より抜粋)



駐 止 禁

★消防用機械器具置場若しくは、消防用防火水そうの側端、又は、これらの通路に接する出入口から五メートル以内の部分

★消火栓、又は、消防用防火水そうの吸入口、若しくは、吸管投入



冬の火災に備えて消火体制は大じようぶ？

孔から五メートル以内
★火災報知機から一メートル以内
消火栓や道路の除雪は
みんなの協力です

山岳遭難救助隊 結成される

昨年11月1日に、室蘭市山岳遭難救助隊が結成されました。事故発生した場合は、警察署または市社会教育課(室蘭山岳遭難防止協議会事務局)に連絡してください。

●隊員氏名(敬称略)

隊長 室蘭市長 高薄豊次郎
副隊長 室蘭警察署長 斎藤竹治
教育長 片岡賢徳

〔隊員40名〕

土谷敏夫 磯野美彦 村上信義 服部勝宗
佐藤敏晴 本間誠吉 河上清美 及川俊郎
高橋泰昭 柴田丈一 伊藤省悟 荒川悦郎
石原正紀 小池利男 小林栄一 安友征利
神原克昭 伊藤多幸 広永栄一 渡辺恒利
賀沢徳雄 宮高義弘 鎌田隆造 伊藤秀明
飯沢勝司 本間鉄夫 谷村良一 諸橋和洋
有路勝司 齊藤勝男 星野昭亜 松見恒川
市川匡 鈴木靖男 竹谷清光 恒川恒
成田美大 佐々哲夫 大佐々光
二井高敏

胃腸病(胃がん) 検診第二次受付



▼検診対象者

☆三十五才以上の方(ただし、胃腸病疾患のある方および既応症のある方については年令の制限はありません)

☆前回の検診で要精検者又は経過観察者と認定された方は極力再検診をお勧めします。

▼検診手数料

☆一般の方 七八〇円

☆七十才以上の高齢者 二六〇円

☆前回の検診で要精検者又は経過観察と認定された方 三二〇円

▼申し込み期間

1月10日～2月20日まで

▼申し込み場所

市衛生課および支所 出張所

▼検診予定日

3月中旬～下旬

母親学級を開設

1月と3月に

市では、新しくおかあさんになる方が、安心して赤ちゃんを産むこと、また、自信をもって赤ちゃんを育てられるようにするため、母親学級を開設します。

▼開設期間(一期間四日)

1月8・9・22・23日

3月12・13・19・20日

▼場所と時間

衛生課輪西分室、13時～16時

▼申し込み場所

電話または口頭で市役所衛生課

(電話②1111)

※受講料は無料で定員30人になり次第しめきります。

シンナー等の乱用防止に販売自主規制を

少年補導センターと室蘭警察署では、販売取扱業者(薬店、金物店、模型店、文房具店等)との間に、シンナー等有機溶剤(ラッカーシンナー、プラカラー、ボンドセメダイン、コンタクト等)の販売については、次のとおり自主規制を申し合わせております。

青少年のシンナー等の乱用防止のため、みなさんのご協力を願います。

▽二十才未満の方で、工作用として用いる場合は、担任教師の証明書、また、業務用として用いる場合は、事業主の証明書を要し、住所氏名等を控えます。

▽20才以上の方も、住所、氏名等を台帳に記入していただきます。

訂正お詫び

12月号市政だより「公給領収証の記事中、10行目「食堂の場合で千二百円以下…」は「食堂等の六百円以下のもや、宿泊の場合で千二百円以下…」と訂正します。

1月の納税
道・市民税第4期
国民健康保険税第6期

●納期は1月31日です

あなたかい贈物

12月4日現在

(敬称略)

- ▽東町2～21 室蘭生命保険協会(三万円) ▽中島町民和会西18組 代表谷口勝治(二万三千七百五十円) ▽輪西町2～13 吉川工業労働組合青年部 代表佐藤優美(八千円)
- ▽浦和市 大滝多三郎(二五九円) ▽中央町2～11 小西章介(二〇万円) ▽海岸町3～5 ウスキ技術センター(五千四百七十一円) ▽清水町2～13 町田実(六万円)
- ▽本町2～8 中山カツエ(衣類等八〇点) ▽海岸町2～3 協栄商事(タバコ一箱) ▽常盤町6～5 みずほ幼稚園(二千一〇〇円) ▽中島本町2～19 民和会 代表佐藤房雄(七千三〇〇円) ▽本輪西町老寿会(三千円) ▽本輪西町4～6 栗田鉄五郎(二千円) ▽知利別町知友会 代表長崎マリ(菓子など一〇〇個) ▽室蘭甘党会 代表丸井光三(一万二千円)